

Ⅳ 令和7年度初任者研修に係る関係書類

No	様式略称	様式名	1 年 目			2 年 目		3 年 目	作成者	備 考
			【提出期限】	R7. 5. 16	R8. 3. 11	R8. 3. 11	学校保管	R8. 2. 27		
			【提出先】	総合教育センター	学校保管	総合教育センター	学校保管	総合教育センター		
1	A 票	勤務校研修・指導記録（A 票）			●				指導教員	
2	B 票	勤務校研修・指導記録（B 票）			●				初任者	
3		校内公開（研究）授業指導案					● 2 回分		初任者	
4		校内公開（研究）授業検討会記録					● 2 回分		初任者	
5	様式1	勤務校研修・一般研修（計画書/報告書）	● 計画	● 報告					校長	
6	様式2	勤務校研修・授業研修（計画書/報告書）	● 計画	● 報告					校長	
7		全職員分の時間割	●						校長	
8	様式4	初任者及び指導教員等に関する調査	●						校長	
9	様式8	初任者研修研修報告書		●					初任者	A 4 判・1 枚 （両面印刷）
10	様式9	初任者研修（2 年目）研修報告書				●			初任者	A 4 判・1 枚 （片面印刷）
11	様式10	初任者研修（3 年目）研修報告書						●	初任者	A 4 判・1 枚 （片面印刷）

1 上記の各種様式は、総合教育センターホームページからダウンロードして使用してください。

- ◆ 総合教育センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/>
「様式ダウンロード」→「初任者研修（2 年目・3 年目含む）・新規採用者研修・新規採用教員研修」→「初任研様式一覧（小・中・高・特共通）」
※「R 7 年度用」を使用してください。

2 提出方法と提出先

(PDF)

(県立) 校長 →→ 総合教育センター

※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛でデスクネットメール(ウェブメール)で提出してください。

(紙媒体)

(市立) 校長 →→ 市教育委員会 →→ 総合教育センター

3 表中の【提出期限】を確認してください。

A票の利用について
B票と併せて回覧し、勤務校研修の実施状況の把握や情報共有を行います。

A票の入力について
○ 週ごとに色のついているセルに入力します。
○ 研修の種別と担当者は、リストから選択します。

校長	教頭	主幹教諭	教科指導教員	指導教員

第1回 勤務校研修を実施した週を「第1週」とします。

初任者研修 勤務校研修 指導記録（A票）（例）

研修 第7週

月日	校 時	授業前	1	2	3	4	「準備・整理」の内容を簡潔に記入します。（研修の準備、指導記録整理等）		
5月12日 月	直接指導								
	準備・整理		※時間割に記載のある「指導教員」(指)・「教科指導教員」(教)のうち、「準備・整理」を行った人を選択します。					指導記録等整理	
5月13日 火	直接指導		※「その他の教員」の準備・整理の時間は時間割上に位置付けられていないので記入不要です。						教
	準備・整理							資料作成	
5月14日 水	直接指導								指
	準備・整理								授 教
5月15日 木	直接指導								
	準備・整理								
5月16日	直接指導		授業実践 1-4数学Ⅰ						ICT活用について
	準備・整理								授 教
								研修の準備	
								教	

時数はすべて自動的に表示されます。

※研修の種別や担当者を正しく入力した場合に限ります。

週・初任者研修従事時間数						直接指導内訳	
直 接 指 導				準備・整理	総時間	一般研修	授業研修
教科指導教員	指導教員	その他の教員	計				
3	1	1	5	5	10	2	3
累 計				計		累 計	計
18	7	5	30	30	60	12	18

注 ① 指導者が記録し、指導教員が管理すること。

② 「直接指導」「準備・整理」の年間300時間について記録すること。

【学校保管】

初任者研修 勤務校研修 研修記録（B票）（例）

週	第 13 週	研修内容	実施期日・指導者名
1	一般 OJT	生徒の褒め方・叱り方	令和7年6月23日 (月) 【 1 】 時間 指導者： ○○ ○○
2	授業 実践	1年4組 英語コミュニケーション I	令和7年6月25日 (水) 【 1 】 時間 指導者： ○○ ○○
3	授業 参観	1年2組 論理・表現 I	令和7年6月25日 (水) 【 1 】 時間 指導者： ○○ ○○
4	授業 講義	生徒の意欲を高める学習課題	令和7年6月26日 (木) 【 1 】 時間 指導者： ○○ ○○
5	一般	学校と地域社会との連携	令和7年6月27日 (金) 【 1 】 時間 指導者： ○○ ○○
分かったこと・感想等			
・演習形式で体験しながらの研修だったので、実感が湧き、生徒の気持ちや自分が褒めるときや叱るときにどうするかを具体的に考えることができた。 ・授業実践では～ ・授業参観では～			

初任者が研修を受講して分かったことや感想等を、週ごとに簡潔に記入します。

週	第 週	研修内容	実施期日・指導者名
1			【 】 時間 指導者：
2			【 】 時間 指導者：
3			【 】 時間 指導者：
4			【 】 時間 指導者：
5		B票の利用について A票と併せて回覧し、勤務校研修の実施状況の把握や情報共有を行います。 B票の入力について ○ 週ごとに色のついてセルに入力します。 ○ 研修内容は、リストから選択します。	

注 初任者が記入し、指導教員が管理すること。

様式1

令和7年度初任者研修勤務校研修・一般研修【計画・報告】書

□口高等学校

初任者氏名 宮城野 萩男

回	月	日	OJT	勤務校研修(一般研修)研修項目	指導教員・その他の教員	職・氏名	指導時間
1	4	2	○	学校の教育目標及び組織と運営(総)	その他の教員	教頭・宮城 太郎	1
2	4	4		教師の研修と心構え(基)	指導教員	教諭・青森 りんご	1
3	4	7		学習指導の基本技術(教科)	その他の教員	教諭(例:教科主任)	1
4	4	11		教師の一日(基)	その他の教員	主幹教諭・石巻 岩夫	1
5	5	1		学校の教育計画と年間指導計画(基)	その他の教員	教諭(例:教務部長)	1
6	5	7		学校における生徒指導体制(生)	その他の教員	教諭(例:生徒指導部長)	1
7	5	9	○	教材研究の実践Ⅰ(教科)	その他の教員	教頭・宮城 太郎	1
8	5	12		評価の在り方Ⅰ(教科)	指導教員	教諭・青森 りんご	1
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60				一年間の研修を振り返って(教)			

「指導教員」以外は、全て「その他の教員」となります。

OJTでの実施を計画しているものに、○印を付けます。積極的にOJTを活用してください。

「研修項目」は各学校の実情に応じて設定することができます。年度初めに、60時間以上になるように記入します。

年度末の「報告」について

- ・表題の「報告」に○印を付けてください。
- ・初任者の学びの深まりや研修の進捗状況に応じて、計画を見直してください。
- ・計画に変更が生じた場合は、実際に実施した期日、研修項目、担当教員等に改めてください。
- ・OJTとして実施したものは、「OJT」欄に○印を付けてください。
- ・「指導記録(A票)」と期日が一致するか確認してください。

一般研修の最後には、一年間の研修を振り返る内容の項目を入れてください。
ただし、閉講式は、初任研3年目の機関研修で行いますので、「閉講式」とは記入しないでください。

勤務校研修(一般研修)は、年間60時間以上(30週)で計画します。

合計時間 60

作成上の注意

- ① 初任者が複数配置されている場合は、初任者ごとに作成する。
- ② 「研修項目」については、「Ⅲ 3 一般研修と機関研修との連携例」等を参考に研修内容を記入する。
- ③ OJTで実施するものについては「OJT」欄に○印を付ける。
例：職員会議前後に初任者に補足説明等を行う。校内研修会へ参加する。
学校行事の運営・参加を通して研修を行う。指導者の助言を受けながら書類を作成する。
- ④ 指導時間の総計が60時間以上になるように計画する。

様式2

令和7年度初任者研修勤務校研修・授業研修【計画・報告】書

□□□高等学校

初任者氏名 宮城野 萩男

回	月	日	勤務校研修(授業研修)研修項目	校内 公開 授業	指導教員・その他の教員	職・氏名	指導時間		
							実践	参観	講・演
1	4	11	授業計画の作成		教科指導教員	教諭・若林 華子			1
2	4	11	授業実践(1-2・数学Ⅰ)		教科指導教員	教諭・若林 華子	1		
			参観(2-1・数学Ⅱ)		教科指導教員			1	
			指導案の作成		教科指導教員				1
			授業		教科指導教員				1
37	8	1	模擬授業		教科指導教員	教諭・若林 華子			1
41	9	5	授業参観(2-4・数学B)		その他の教員	教諭・〇〇〇〇		1	
42	9	5	授業実践(1-3・数学A)	○	教科指導教員	教諭・若林 華子	1		
43	9	5	事後検討会		教科指導教員	教諭・若林 華子			1
88	1	23	授業実践(1-1・数学Ⅰ)		教科指導教員	教諭・若林 華子	1		
89	1	26	研修のまとめ		教科指導教員	教諭・若林 華子			1
90	1	28	授業参観(2-2・数学Ⅱ)		その他の教員	教諭・□□□□			1
							30	28	32
							90		

教科指導教員以外の教員の授業を参観することも可能です。

長期休業中に研修を行うことも可能です(例では9月の校内公開授業に向けて講義・演習を行っています)。

「教科指導教員」以外は、全て「その他の教員」となります。

年間90時間以上(30週)で計画します。また、「実践」「参観」「講義・演習」がバランスよく実施されるよう留意してください。

作成上の注意：初任者が複数配置されている場合は、初任者ごとに作成する。

(各校の様式)

「全職員分の時間割」 提出に当たっての注意

各校の時間割に、以下の初任研に係る時間が分かるように記入の上（手書き可）、提出してください。

- ・ 授業実践（初任者が授業を実践する）
- ・ 授業参観（初任者が教科指導教員や他の教員の示範授業を参観する）
- ・ 講義・演習（初任者が教科指導教員等から授業研修に係る指導を受ける）
- ・ 一般研修（初任者が指導教員や他の教員から一般研修に係る指導を受ける）

(記入例)

※下の記入例は、紙面の都合上、初任者研修に係る部分のみ掲載しています。

	教科	氏 名	水					木						金					
			水2	水3	水4	水5	水6	木1	木2	木3	木4	木5	木6	金1	金2	金3	金4	金5	金6
初任者 教科指導教員 指導教員	数学	宮城野 萩男	授業参観		数学 I 1-1	数学 B 2-2	一般研修		数学 I 1-2			一般研修	探究 1-1	数学 I 1-2	授業実践 数学 I 1-1		数学 B 2-2	講義・演習	
	数学	若林 華子	授業参観 数学 I 1-3		数学 A 1-5				数学 I 1-6				探究 1-4	準備・整理	授業実践		数学 I 1-3	講義・演習	
	国語	青森 りんご	国語表現 3-1	準備・整理		国語表現 3-2	一般研修		準備・整理		国語表現 3-1	一般研修			国語表現 3-1			国語表現 3-2	

※「準備・整理」の時間についても、記入して構いません。

初任者及び指導教員等に関する調査

学校名 □□□ 高等学校

「年齢」「講師経験年数」「教職経験年数」「指導教員経験」等はすべて令和7年4月1日現在で記入してください。

1 初任者について

理科、工業は主たる担当科目も括弧書きで記入して下さい。

初任者配置数 (1) 人 全学級数 (15)

校内の同一教科を担当している教員数を記入してください(本人含む)。

初任者氏名	年齢	性別	所属学年	※1学級担任 担任・副担任・無	部活動顧問		教 科		人数	主な校務分掌	持ち時数	※2その他	
					部活動名	正顧問・副顧問	免許教科	担当教科(科目)				講師経験の有無	講師経験年数(有の場合)
宮城野 萩男	29	男	1 年	副担任	サッカー部	副顧問	理科	理科(生物)	4	進路指導	15 時数	有	6 年 3 ヶ月
美田 園子	22	女	2 年	副担任	ソフトテニス部	正顧問	地歴	地歴	2	環境教育	15 時数	無	年 ヶ月
			年										

初任者の持ち時数には、総合的な探究の時間、LHR及び勤務校研修に係る時間も時数に含めます。ただし、部会等の会議の時間は含めません。

記入上の留意事項

- ※1「学級担任」は、「担任」「副担任」「無」のいずれかを記入する。
- ※2「その他」は、講師経験「有」「無」のいずれかを記入する。「有」の場合は経験年数も記入すること（常勤・非常勤、私立の経験を含む）。
- 「部活動顧問」は、「正顧問」「副顧問」のいずれかを記入する。
- 「教科」のうち「人数」は同一教科を担当している人数（本人を含む）を記入する。
- 「持ち時数」は、研修時間も含めた「週当たりの持ち時数」を記入する。

隣接校から指導に来ている教科指導員の場合は、兼務校を記入してください。

2 指導教員等について

部長・主任などの場合は、そのことを明記してください。

	職名	氏 名	年齢	性別	教職 経験 年数	指導 教員 経験	学級担任 有・無	持ち時数	主な校務分掌	免許教科	担当初任者氏名 〔免許教科〕	※兼務校がある場合 には、その学校名
指 導 教 員	教諭	青森 りんご	52	女	28 年	3 回	無	14 時数	教務	国語	宮城野 萩男 〔理科〕	
教 科 指 導 教 員	教諭	若林 華子	48	女	26 年	1 回	有	16 時数	情報	理科	宮城野 萩男 〔理科〕	
教 科 指 導 教 員	教諭	泉 清子	45	女	23 年	0 回	有	16 時数	進路指導	地歴	美田 園子	
教 科 指 導 教 員					年	回						
メ ン タ ー	教諭	蔵王 雪介	30	男	5 年		有		進路指導	英語	宮城野 萩男 〔数理科〕	
メ ン タ ー	教諭	蔵王 雪介	30	男	5 年		有		進路指導	英語	美田 園子 〔社会〕	
メ ン タ ー	教諭	栗駒 紅葉	25	女	3 年		有		情報	国語	美田 園子 〔社会〕	
メ ン タ ー	教諭	葉菜 若葉	26	女	4 年		有		保健厚生	保健体育	宮城野 萩男 〔理科〕	

「持ち時数」には、総合的な探究の時間、LHR及び研修(準備・整理も含む)に係る時間も含めます。ただし、部会等の会議の時間は数えません。

指導教員でない教諭の平均実授業時数 16.2 時数 (実授業時数の平均(ただし、初任者、指導教員、教科指導教員を除く))

記入上の留意事項

- 「教職経験年数」は、講師経験年数は含まない。
- 「学級担任」は、「有」「無」のいずれかを記入する。
- 「指導教員経験」は、これまで指導教員等としての経験がある場合、その回数を記入する。(例：令和7年度に初めて指導教員等になる場合は「0回」)
- 指導教員が教科指導教員を兼ねる場合は、指導教員の欄に記入する。
- 「持ち時数」は、指導時間も含めた「週当たりの持ち時数」を記入する。
- 非常勤講師が教科指導教員となる場合は、本務経験者であることが条件になる。
- ※兼務校がある場合には、その学校名を記入する。

メンターは初任者の相談役です。初任者1人につき1人以上のメンターを記入してください。1人のメンターが複数の初任者を担当することも可能です。メンターは初任者と比較的年齢の近い教員が担当することが望ましいです。記入欄が不足する場合には、行を挿入してください。

初任者研修 研修報告書

学校名

氏名

初任者は、年度初め(4月)と年度末(2月又は3月)に以下の観点に基づいて自己評価するとともに、1年間の研修成果を振り返ること。

※評価の観点は「みやぎの教員に求められる資質能力」の【基礎形成期】(1年目～5年目)に求められる資質能力に基づいています。

【1:大いに努力を要する 2:やや努力を要する 3:おおむね達成している 4:十分達成している】

項目	観 点	4月	2月又は3月
授業力	教科等に関する専門的知識・技能を持っている。		
	学習指導要領の目標等を達成するための教育の方法・技術を身に付けている。		
	子供の学びを引き出す授業づくりの視点を持っている。		
	社会に開かれた教育課程の視点を踏まえた教材研究・教材化ができる。		
	カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた授業展開・授業改善の実践ができる。		
	特別な支援を必要とする子供などの個別的教育支援計画・個別の指導計画を関係機関と連携して作成・活用ができる。		
生徒指導力	生活習慣や規範意識を育むための適切な生活指導ができる。		
	適切な学級等の経営と良好な学習環境の確立ができる。		
	生徒指導的観点から授業や学校行事を改善する視点を持っている。		
	いじめなどの問題や不登校を理解する姿勢を常に持ち、学校全体での組織的対応の視点を持っている。		
	いじめ、不登校、心のケア、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応のため、教育相談やカウンセリングの基礎的な知識・技法を身に付けている。		
	教職員間・保護者や地域社会・関係機関との信頼関係の下で連携・協働する視点を持っている。		
子供理解	共感的コミュニケーションの力を備えているとともに、常に向上させるよう努める姿勢を持っている。		
	子供たちの成長の段階等に応じた心理に関する基礎的知識を持っている。		
	発達障害を含む障害等への理解など、子供たちを多面的・総合的に理解する視点を持っている。		
	心のケアの充実のため、子供たちの心の変化や状況を中長期的に把握する視点を持っている。		
学校を支える力	担当する授業や校務分掌における自己の役割と責任を自覚している。		
	学校運営上自らが担うべき役割を適切かつ効率的に果たすことができる。		
	他の教職員とのコミュニケーションを保ち、協働に向けた協調性を持っている。		
	地域及び保護者や学校外の専門家及び関係機関との良好なコミュニケーションを保ち、信頼関係を構築できる。		
教育への情熱	子供たちに対する深い愛情を持っている。		
	教員としての高い使命感と情熱を持っている。		
	子供の命を守る強い覚悟を持っている。		
	学校を安全で安心な学びの場とする心構えを持っている。		
	教育者としての高い倫理観と責任感を持っている。		
たくましく豊かな人間性	精神的なたくましさを備えている。		
	広く豊かな教養と常識を身に付けている。		
	コミュニケーション力を備えている。		
	他者を思いやる心を持ち、心身の健康を保持し、適切に自己管理ができる。		
自己研鑽力	高度専門職としての教育公務員であることを自覚している。		
	自ら学び続け、成長し続ける意欲を持っている。		
	課題意識を持って改善に努め、変革する挑戦心を持っている。		
	客観的な自己分析ができる。		
	教員同士で共に学び合う意識を持っている。		

※「研修報告書」は、No.1、2を両面印刷し、1枚にして提出のこと。

初任者記入欄
今年度の初任者研修を通して身に付いたこと
次年度の研修及び教育活動に向けた抱負・課題

指導教員等記入欄		
	初任者研修を通して伸びたと思われるところ	今後更に伸ばしてほしいところ
一般研修		
授業研修		

校長所見

初任者研修の実施について上記のとおり報告します。

年 月 日

校 長

(公印省略)

初任者研修（2年目）研修報告書

令和 年 月 日

学校名

校 長

（公印省略）

初任者研修（2年目）の実施について下記のとおり報告します。

記

氏 名										
2年目研修テーマ										
勤務校研修「校内公開（研究）授業及び検討会」について										
1 回 目	研 修 期 日	令和		年		月		日	()	
	研 修 内 容									
2 回 目	研 修 期 日	令和		年		月		日	()	
	研 修 内 容									
* 3 回 目	研 修 期 日	令和		年		月		日	()	
	研 修 内 容									

*校内公開（研究）授業及び検討会を3回以上実施した場合に記入する。

初任者研修（2年目）の成果と次年度に向けた抱負・課題

校長所見

初任者研修（3年目）研修報告書

令和 年 月 日

学校名

校 長

(公印省略)

初任者研修（3年目）の実施について下記のとおり報告します。

記

氏 名	
-----	--

選択研修（2日間）について		
1 日 目	研修会名等	
	研 修 期 日	令和 年 月 日 （ ）
	研 修 内 容	
2 日 目	研修会名等	
	研 修 期 日	令和 年 月 日 （ ）
	研 修 内 容	

初任者研修（3年目）の成果と次年度に向けた抱負・課題

校長所見